

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		(平成9年度)平成17年度			
事業開始年度		(平成9年度)平成17年度			
総合計画	大項目	基本目標	05	住民主体の協働のまちづくり	根拠法令・例規等 マイタウン・マイクロバス実施要領
	中項目	基本施策	01	住民主体で進めるまちづくり	
	小項目	施策	01	広聴広報	
事務事業名		03	施設見学会事業		
			担当課(室)	総務課	
			職・氏名	秘書広報係長・入江章行	
			電話	0869-64-1800	

事業の実施		
対象(誰・何に対して)	市民レベルで組織された各種任意団体・サークル等	
目的(何のために)	市民参加の行政を進めるうえで、市民の市政に対する理解・協力は必要不可欠なものとし、市民に市内の公共施設等を見学してもらい、市政に対する理解と関心を深めていただくため。	
行政活動(どのような方法で)	15人以上(25人未満)の団体等の申込により、半日市内公共施設等を市のバスで案内し、担当者などから施設の業務内容や利用方法などを説明する	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	合併による市域拡大により、開催回数と参加人数が増加することで、旧市町、地域間の理解と、市政運営の理解と協力に資する	

事業の実績									
実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績				
活動	開催回数	回	6	6	2				
	参加人数	人	118	122	33				
	見学箇所	箇所	14	12	4				
実績	直接事業費		千円	0.09人	708	0.01人	93	0.01人	93
	必要人員		人件費						
	事業費		費計		708		93		93
	財源	国		千円					
		県							
		支							
出									
受									
益									
者									
負									
担									
比									
率		%							
結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績				
結果指標	開催回数	説明							
	結果指標量	回	6	6	2				
	対前年対比	%	-	100.0%	33.3%				
	活動コスト	円	708,000	93,000	93,000				
単位当たりコスト	円	118,000	15,500	46,500					
結果指標	結果指標量	説明							
	対前年対比	%							
	活動コスト	円							
	単位当たりコスト	円							

事業の成果						
成果指標名		年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
開催率(%)	目標値(A)		100	100	100	100
	実績値(B)		100	100	100	到達目標年度
	達成率(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	平成20年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
開催数/申込数						

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			(平成20年度事業)		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 説明 高齢者グループからの要望は強い	妥当性評価 <A-E>	C
		市民ニーズ		判定理由・課題認識	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 <A-E>	D
		手段		判定理由・課題認識	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		有効性評価 <A-E>	D
		市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	参加者側からの要望で開催される事業であり、また参加者が市政に関心を持ち理解したいとする見学である。これに応じることが市政に対する理解と協力に結びつくものと考えられる。 以前から毎年利用していた旧備前市備前市の団体から申請が減少したため利用数が減った。なお、制度の利用が旧備前市の団体等に偏る傾向があり、日生、吉永地域の団体参加を進めるため、周知に努める必要がある。	判定理由・課題認識

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量	結果指標量			成果指標量	
	5				100	
状況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
説明	市民に理解を深めてもらうとともに、市内各地域の現状を見ていただくことで地域間の融和に役立てる意味を加味していく。より多くの市民に参加してもらうため、広報びぜん5月号に掲載するとともに自治会連絡協議会総会で資料配布説明を行った。今年度から、見学内容について理解を得られたアンケートをとる。					

総合評価		評価区分 <A-E>
市内公共施設等を市のバスで案内し、直接施設の業務内容や利用方法などを理解してもらっており有効性は高く、参加者からは好評である。しかしながら、旧備前市で平成9年度から行っているため、利用が旧備前市の団体等に偏る傾向があり、18年度吉永地域1団体、19年度日生地域1団体となっている。 なお、制度の趣旨を理解せず申し込みに来る場合があるので、利用の促進とともに制度の趣旨や見学内容をホームページ(クローズアップびぜん)などで公表している。 今後は、市民に理解を深めてもらうとともに、市内各地域の現状を見ていただくことで地域間の融和に役立てる意味を加味していく。		妥当性 有効性 効率性 C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	市民の自主的申請がコミュニティの活性に繋がると思うが、メニュー化してほしいという意見もあるので、この制度で行うかどうか検討の余地はある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		